

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

2009年7月25日

マスコミ関係者各位

日本近代音楽財団と明治学院が資料継承協定 ＝資料寄贈に関する合意書に7月24日調印＝

四半世紀にわたり、わが国の近代音楽、とりわけ明治以降の洋楽に関する資料の散逸を防ぎ、文化遺産として保存・記録するための専門機関として活動してきた日本近代音楽館の主要資料が、明治学院大学図書館に寄贈されることになりました。合意書への調印は7月24日に明治学院大学で行われました。

日本近代音楽館(港区麻布台 1-8-14 館長 遠山一行)は、芥川也寸志、安川加壽子、宮澤縦一、遠山一行など楽界の有志 400 人の運動から生まれた、財団法人日本近代音楽財団の付属機関で、所蔵品は明治以降の日本の代表的作曲家の自筆楽譜や初版譜、原稿、および関連資料を所蔵するとともに、貴重な録音資料と雑誌・図書・写真、さらに明治期より現在までの国内演奏会のプログラム等、約 50 万点の資料を所蔵し、国内唯一の学術的音楽資料センターとして機能しています。

このたび所蔵資料を明治学院に寄贈し、明治学院大学図書館の所蔵とするとともに、日本の音楽文化の研究・教育のために広く公開し、合わせて一般の利用にも対応することとして合意書を締結しました。

日本近代音楽館は近代日本音楽の資料収集・整備保存を行ってきましたが、事業の継続性を果たすため、明治学院への資料寄贈を打診し、明治学院大学文学部教授の樋口隆一(芸術学科)の仲立ちで、同じ港区内の明治学院との交渉が成立し、今回の調印となりました。

明治学院は2013年に横浜へボン塾創設より創立150周年を迎えます。今回の寄贈資料の受入れはその記念事業の一環として位置づけられ、今後は資料を明治学院大学図書館に収蔵すると同時に、教育と研究にとどまらず広く音楽文化の振興のため、デジタルアーカイブ等も企画し一般の利用にも供する予定です。明治学院大学図書館における寄贈資料の順次閲覧開始は、受入れ・整理作業後の2011年5月を予定しています。

■ 取材のお問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当：圓道、石井

〒108-8636 東京都港区白金台 1-2-37

Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>